



特集 11月は児童虐待防止推進月間です

COVER 祝 全国大会優勝！ 青葉中学校剣道部女子団体

茨城町公式SNSで情報発信中！



あなたは「虐待」をどこまでご存じですか？

虐待は、子どもに対する重大な人権侵害です。保護者はしつけのつもりでも、暴力や暴言で子どもを追いつめ、子どもの心身を傷つけ、健全な成長や人格形成に深刻な影響を与えるものであれば、それは虐待なのです。

《子どもへの虐待の種類と主な特徴》

身体的虐待	心理的虐待
<p>子どもの身体に外傷が生じる、または生じる恐れのある暴行を加えること →後遺症が残る、外傷により死に至ることがある</p> <p>例) 殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、火傷を負わせる、首を絞める、溺れさせる、締め出す、意図的に子どもを病気にさせるなど</p> 	<p>子どもに著しい心理的外傷を与える言動を行うこと →子どもの心に不安や怯えを引き起こす</p> <p>例) 言葉で脅す、脅迫する、無視や拒否的な態度をとる、兄弟間で差別的な扱いをする、子どもの前で家族に対して暴力を振るう など</p> 
ネグレクト（育児の放棄）	性的虐待
<p>心身の正常な発達を妨げる行為、長時間の放置など保護者としての責任を著しく怠ること →栄養失調、脱水症状など死に至ることがある</p> <p>例) 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、車中に放置する、保護者以外の同居人による虐待を放置する など</p> 	<p>子どもにわいせつな行為をすること、させること →異性への嫌悪感をうえつけるなど、子どもの心身に大きな傷を残す</p> <p>例) 性的行為を強要する、わいせつな映像を見せる、ポルノグラフィティの被写体にする など</p> 

要注意! 実はこれも児童虐待です



小さい子どもの車内放置・自宅放置

「眠っていたから」「短い時間だから」…
わずかな油断が子どもの生命を危険にさらします

子どもの前での夫婦げんか

子どもの心を傷つけるだけでなく
その後の成長にも悪影響を与えます

子どもの前での夫婦げんかは、「**面前DV**」とも呼ばれる心理的虐待のひとつです。

子ども自身が直接叩かれたり怒鳴られたりしなくても、「自分のせいでけんかしているのかもしれない」と不安になったり、「自分は何もできない」という無力感や罪悪感を抱えたりすることにつながります。もし夫婦間で意見が合わないときは、お互いに冷静になり、子どものいない場所や時間帯でゆっくりと話し合えるよう心がけましょう。

特集

11月は「児童虐待防止推進月間」です

～「しつけ」のつもりは親の言い訳～

児童虐待に関する相談対応件数は年々増加傾向にあり、特に子どもの生命が奪われるなどの重大な事件が後を絶ちません。痛ましい児童虐待は、テレビの向こうの出来事ではなく、子育てをしている誰もが引き起こしかねないものです。特に、子育てをしている家族が心身ともに追い詰められてしまい、自覚なく虐待をしてしまっていることも少なくありません。



11月は「**児童虐待防止推進月間**」。子どもが辛い思いをしていたら「**しつけ**」ではなく「**虐待**」であると理解し、子どもの立場に立って考えてみる必要があります。

現在まさに子育てを頑張っているあなた、これから親になるあなた、そして、子どもが暮らす地域で共に生活しているあなた。児童虐待は、社会全体で解決すべき重要な問題です。いま、児童虐待をなくすために、できることを考えてみませんか。

【問合せ先】 こども課（こども家庭センターグループ）
☎029-240-7129（直通）
茨城町総合福祉センター
「ゆうゆう館」内



町こども課職員一同は、茨城町での子育てを全力でサポートしています。
わたしたちと一緒に考えてみましょう！

まずはチェック!

子育てを頑張るお母さん、お父さん 思い当たることはありませんか？

- イライラして、子どもにあたってしまうことがある
- 感情的になって怒鳴ってしまうことがある
- 子どもが愛おしく感じられないときがある
- 子どもの悪いところばかりに目がいく
- 忙しくて子育てがおろそかになっていると感じる
- 身近に相談できる人がいなくて心細い



児童相談所全国共通ダイヤル「189（いちはやく）」 ～あなたの1本の電話で救われる子どもがいます～

「189（いちはやく）」は、虐待かも？と思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談できる全国共通の電話番号です。通告・相談は匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。虐待を受けたと思われる子どもを見つけた方、出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、町のこども課（こども家庭センター）・児童相談所へお気軽にご相談ください。



まだまだ幼く、伝える手段を知らない子どもは、泣いたりぐずったりすることを繰り返し、周りの大人に助けられながら少しずつ成長していきます。それは子育てに悩む大人も同じ。不安や悩みを抱えたまま育児をしていると、気がつかないうちに子どもを傷つける言動をとってしまうことがあります。辛いときには「周りに頼る」という一歩を踏み出すことが大切です。育児に関することやご家庭における心配ごと、困っていることがあれば、町の「こども家庭センター(☎029-240-7129)」になんでもご相談ください。様々な関係機関と連携を取りながら、解決策を見つけるための支援を行っています。

また、同じ地域に暮らすみんなで子どもを育てていくという意識を持つことが重要です。児童虐待を見つけたら、まず通報することで、子どもの安全確保が最優先されます。「もしかしたら…」をそのままにして抱え込んだり、見て見ぬふりをしたりせず、勇気をもって通報することが必要です。

子育てとは、一人の人間と向き合い続けること。大切な命を健やかに育てるために、社会全体で協力できる環境をつくっていきましょう。

子育ての悩みに寄り添います

茨城町こども課 こども家庭センター

☎ 029-240-7129（直通）

妊娠期から子育て期にわたり、様々な相談を随時受け付けています。詳しくはお問い合わせください。

こども家庭庁 啓発ホームページ

しつけ？体罰？これってどっち？

親子のための相談 LINE

子どもを健やかに育てるために ～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てにおいて、しつけと称して叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼす恐れがあります。次のポイントを心がけながら、子どもに向き合いきましょう。

「愛の鞭」を捨てて子どものことを見つめよう！

- 1) 子育てに体罰や暴言を使わない
- 2) 子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない
- 3) 爆発寸前のイライラをクールダウン
- 4) 親自身がSOSを出そう
- 5) 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援



しつけで心がけたいこと

- ◇上手にできたらほめる：小さな子どもには、スキンシップをとることが大切です。
- ◇問題解決のヒントを与える：「今度からこうしてみたら？」とヒントを与えましょう。
- ◇できるまで待つ：子どもの状況を理解して、待つ必要も必要です。
- ◇失敗は成長へのステップ：失敗する行動も前向きにとらえましょう。
- ◇暴力は絶対にダメ：暴力を振ると、体罰はエスカレートしてしまいます。
- ◇傷つける言葉を使わない：「ダメな子」「あんた嫌い」などの言葉で、子どもの心は深く傷つきます。
- ◇他の子と比較しない：他の子と比べられることは、子どものやる気を奪います。
- ◇過去のことを蒸し返さない：過去の失敗を持ち出すと、子どもの自尊心を傷つけます。
- ◇ガラガラと叱らない：叱る時は短くきっぱりと。同じ事を繰り返すのは逆効果です。
- ◇曖昧な態度をとらない：日頃からまっすぐに子どもと向き合しましょう。

社会全体でも見守りの目を！

気づいてください 親と子の「SOSのサイン」 身の回りの子どもや保護者の、こんなサインを見落としていませんか？



- 子どもについて**
- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
 - 不自然な傷や打撲の跡がある
 - 衣類や身体がいつも汚れている
 - 表情が乏しく、活気がない
 - 夜遅くまで一人で遊んでいる
- 保護者について**
- ご近所などと交流がなく、孤立している
 - 小さい子どもを家に置いたまま外出している
 - 子どもの養育に関して威圧的で乱暴、拒否的、無関心である
 - 子どものケガについて不自然な説明をする



上記に思い当たることがあれば、それは虐待のサインかもしれません。

7/26 (金) 高円宮賜杯第44回全日本学童軟式野球大会出場
荃崎ファイターズ佐々木選手 表敬訪問



小林町長 佐々木瑠星選手

軟式野球チームの荃崎ファイターズに所属する佐々木瑠星選手（葵小5年）が、全国大会出場への報告に小林町長を表敬訪問しました。

全国大会に向けて、佐々木選手が「優勝目指してがんばりたい。」と意気込みを語り、小林町長からは「勝利を目指して頑張ってください。」と激励の言葉が送られました。

8月15日（土）から東京都で開催された高円宮賜杯第44回全日本学童軟式野球大会では、最後まで諦めずに全力で戦う姿を見せてくれました。

8/9 (金) 第33回夏の全国小学生ドッジボール選手権大会出場
茨城 KOSMO 表敬訪問



町内のドッジボールチーム「茨城KOSMO」が、全国大会出場への報告に、矢口教育長を表敬訪問しました。

全国大会に向けての意気込みを選手一人一人が語り、矢口教育長からは「悔いのないよう思い切りプレーしてほしい。」と、激励の言葉が送られました。

8月18日（日）にアドストリアみとで開催された第33回夏の全国小学生ドッジボール選手権大会では、予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメントに進出するなど、気迫あふれるプレーを見せてくれました。

7/25 (木) 水戸ホーリーホック茨城町PR大使
サッカーボール贈呈式



水戸ホーリーホック茨城町PR大使によるサッカーボール贈呈式が、HUMAN SOLUTION TOWN ふれあいパーク（上石崎）で行われました。

この贈呈は、サッカーを通じて社会貢献していくプロジェクトに賛同している飯泉涼矢選手（写真後列右）が、自身がフル出場した試合で1勝するごとに、町内の児童福祉施設にサッカーボールを1球プレゼントする取り組みです。

贈呈式では、石崎学園、洵沼学園、ひめまきっずの3施設に1球ずつ寄贈されました。

飯泉選手は、子どもたちとの交流を通して「もっとたくさんのサッカーボールをプレゼントできるように頑張りたい。」との思いを語ってくれました。

7/29 (月) 第106回全国高等学校野球選手権大会出場
霞ヶ浦高校野球部 雲井選手 表敬訪問



矢口教育長 雲井脩斗選手

霞ヶ浦高校野球部に所属する雲井脩斗選手（明光中出身）が、全国大会出場への報告に矢口教育長を表敬訪問しました。

「甲子園の地で、チーム一丸となって戦い抜きたい。」と語る雲井選手に向けて、矢口教育長からは「甲子園は誰もが行ける場所ではない。甲子園のグラウンドに立つ経験は、今後活かされる。ぜひ頑張ってきてほしい。」と、激励の言葉が送られました。

8月7日（水）から兵庫県の阪神甲子園球場で開催された第106回全国高等学校野球選手権大会では、強豪校を撃破し、チームの大会初勝利に貢献する素晴らしい活躍を見せてくれました。

県内初の快挙 全国中学校剣道大会 女子団体優勝
おめでとう！ 青葉中学校剣道部



8月18日、全国中学校剣道大会が新潟市で行われ、青葉中学校剣道部が女子団体の部で優勝を果たしました。県内の剣道部が、中学女子団体において全国優勝を勝ち取ったのは初の快挙です。

9月4日、青葉中剣道部は茨城町役場を表敬訪問し、小林宣夫町長に結果を報告しました。



種目	学年	氏名
剣道 女子団体 全国大会 優勝 関東大会 優勝	3年	橋本 華
		宇佐美 華凜
	2年	雨谷 星七
		時田 迦弥
1年	貝塚 朱里	
	雨谷 凜	
		佐久間 朱那

幼い頃から同じ道場で切磋琢磨してきた7人。「昔からずっと一緒に、何でも言い合えるチームメイト。監督、剣道部のメンバー、家族や応援してくれた皆さんと共に、全国の舞台上で戦った経験を自信にして、これからも頑張りたい。」と語りました。



大将戦に臨む宇佐美選手

橋本 華さん (3年)

昨年の全国大会では副将を務め、準決勝敗退の三位だった。今年は先鋒をやらせてほしいと自分から監督に願い出た。自分がしっかり流れを作るしかないという気持ちで、力を出し切ることができた。

宇佐美 華凜さん (3年)

最後の大将戦は、弱気で中途半端な気持ちが一番駄目だと思い、覚悟を決めて挑んだ。まだ実感がわかないけれど、全国優勝を果たせてとても嬉しい。

雨谷 星七さん (3年)

チームで優勝できて嬉しい気持ちもあるし、全国の舞台上では自分の剣道を出し切れなかったという思いもある。この悔しさをバネに、高校に進学してもずっと剣道を続けていきたい。

時田 迦弥さん (3年)

優勝したときは、ほっと安心した。全国大会では次鋒として試合に出場し、相手からメンを取ることができたので、チームの流れをいい方向に引っ張っていったのではと思う。

貝塚 朱里さん (2年)

全国優勝は、たくさんの人に支えてもらったからこそ。全員一丸で、「チーム青葉」として頑張った。特に、送り迎えやおいしいお弁当などで応援してくれた家族のおかげで力を出せた。

雨谷 凜さん (1年)

優勝が決まったときは実感がわかなかった。中堅として出場するときは、前の二人が勝ってきてくれる試合が多くて、自分もその勢いに乗って力を出し切ることができたと思う。

佐久間 朱那さん (1年)

全国大会では補員として、常に試合を意識しながら、チームの力になるように心を込めて応援した。普段の練習もこれまでどおり、本番の試合だと思って直向きに続けていきたい。



果敢に攻め込む橋本選手

移住した方・結婚した方向け

茨城町での新生活を応援します！！

茨城町移住者新築住宅等取得補助金

- ▶ **対象** 町外から移住した若者世帯（夫婦ともに39歳以下の世帯）または子育て世帯（18歳未満の者がいる世帯）で、町内に住宅を取得した世帯
- ▶ **補助額** 新築住宅・建売住宅 30万円
中古住宅 15万円



茨城町就業者移住支援金

- ▶ **対象** 町内の事業所で就業（雇用のほか起業・就農等を含む）し、町に移住した方
- ▶ **支援額** 単身で移住した場合 10万円
世帯（2人以上）で移住した場合 20万円



茨城町わくわく茨城生活実現事業における移住支援金

- ▶ **対象** 東京23区に在住または東京圏在住で23区に通勤する方で、事前相談した後、町に移住し、特定の要件を満たした方
- ▶ **支援額** 単身で移住した場合 60万円
世帯（2人以上）で移住した場合 100万円
（世帯員のうち、18歳未満の者1人につき最大100万円を加算）



茨城町結婚新生活支援補助金

- ▶ **対象** 結婚を機に町内で新生活をスタートするため、住宅の取得・リフォーム・賃借や引越をする新婚夫婦（夫婦ともに39歳以下で、前年の合計所得が500万円未満）
- ▶ **補助額** 夫婦ともに29歳以下 最大60万円
夫婦ともに39歳以下 最大30万円



詳しい交付要件や提出書類については、下記までお問い合わせください。

【問合せ先】 地域政策課 企画グループ ☎029-215-8003（直通）

9/6 (金) **おいしいぶどうが勢揃い！**
ぶどう品種検討会と試食会を開催



町内のぶどう生産者9人で組織される茨城町ぶどう生産研究会（郡司匡利会長）が、小林町長を来賓に迎え、町総合福祉センターゆうゆう館で品種検討会を開催しました。

「巨峰」をはじめ、人気の「シャインマスカット」など15品種、合計33点のぶどうが持ち寄られ、重さ・色付き・色合い・味などについて、より高品質なぶどうの生産に向けて生産者間で活発に意見が交わされました。郡司会長は「気候変動の影響で厳しい生産状況ではあるが、今後も皆一丸となってより良いものを作っていきたい。」と挨拶しました。

その後、ゆうゆう館1階エントランスでは試食会が実施され、来場者からは「とても甘くておいしい。町でぶどうが生産されているなんて知らなかった。ぜひ購入したい。」と大変好評でした。

9/1 (日) **災害に備えて日々の準備を**
イオンタウン水戸南で防災備蓄品展示会・防災相談会を開催



「防災の日」に、イオンタウン水戸南センターコートで、防災備蓄品展示会・防災相談会を開催しました。

防災備蓄品展示会では、災害時に避難所で使用・提供する防災資機材や防災食料の展示紹介を行い、町民の方が、町の備蓄品を確認しました。また防災相談会では、町からの災害情報の取得方法やハザードマップの確認、その他防災に関する疑問点や心配事など、来場者の相談に応じました。

今後も防災イベントや訓練などを通じて、災害に関する知識や情報の周知・啓発を行い、町民の皆様とともに、災害対策をすすめていきます。

9/24 (火) **使った食用油を新たな燃料へリサイクル**
廃食用油の有効活用に関する協定を締結しました



茨城町、ENEOS(株)、(株)吉川油脂は、現在は廃棄され、未活用となっている廃食用油の有効活用を目的として、「持続可能な資源循環社会の実現に向けた廃食用油の有効活用に関する協定 締結式」を締結しました。

この協定に基づき、令和6年10月1日から、町内3か所に回収ボックスを設置し、廃食用油の回収を開始しています。回収された油は、環境にやさしい航空燃料とされるSAF（持続可能な航空燃料）に生まれ変わります。

※回収の詳細については、15ページをご覧ください。

9/18(水) 9/19(木) **くらしの身近な税を学ぶ**
町内中学校で租税教室が行われました



明光中での様子

税金の使い方や納税の大切さを学ぶ租税教室が、明光中学校、青葉中学校の3年生を対象に行われました。

町の税務課職員が講師を務め、国や町の税金の種類のほか、町施設の整備費や消防・ごみ収集などを例に、町での税金の使い方について学びました。

生徒からは「税金がさまざまところで使われていることがわかった。学んだことを今後の学習に活かしていきたい。」といった感想が寄せられました。

いばらき県央地域アウトドアイベント「あす旅キャンプフェス」

今年3回目を迎える「あす旅キャンプフェス」では、いばらき県央地域9市町村の食材を使ったピザ焼き体験やホイル焼き体験、自然と触れ合うクラフト体験、わくわくドキドキのフォレストアドベンチャーモバイルコースが初登場するなど、楽しい体験が盛りだくさん！ 特産品を集めたマルシェも同時開催します。



深まる秋を感じながら、美味しいグルメやクラフト体験を楽しみませんか？

- ▶ **日時** 11月23日(土)、11月24日(日)
両日ともに午前10時～午後3時は入場無料・予約不要
※宿泊は要予約

▶ **場所** 瀬沼自然公園キャンプ場（茨城町中石崎2263）

▶ **主催** いばらき県央地域観光協議会

（水戸市・笠間市・ひたちなか市・那珂市・小美玉市・茨城町・大洗町・城里町・東海村）

【あす旅キャンプフェスWEBサイト】 <https://www.asutabi-campfest.jp/>

【宿泊予約WEBサイト】 <https://www.nap-camp.com/ibaraki/10164>

【問合せ先】 商工観光課 ☎029-240-7124（直通）

町では2人の集落支援員が、地域を元気にする取り組みを支援する活動を行っています。

各区が地域活性化のために実施している、地域の特色を活かした取り組みを紹介します。

【問合せ先】 秘書広聴課 ☎ 029-291-8802(直通)

集落支援員Facebook更新中!!

茨城町集落支援員が、各地域の様々な活動をFacebookで紹介しておりますので、是非ご覧ください。



矢頭中丸原区 8月4日(日)

「麦わら細工」のワークショップを開催



初めての「麦わら細工」に挑戦しました。



隣同士で確認しあいながら、和気あいあいと作品を作りました。

植農区 7月21日(日)

天神社「祇園祭」



「大杉太鼓保存会」の皆さんによる迫力ある演技が披露されました。



練習を重ねた子どもたちも、太鼓を披露しました。



金魚すくいは大盛況!

赤坂区 9月15日(日)

「敬老祝賀会」



敬老祝賀会を盛大に開催しました。



「水戸相撲甚句会」の皆さんによる七五調の相撲甚句が披露され、会場は大いに盛り上がりました。



奥谷区 8月11日(日)

「盆竹灯籠まつり」



御霊神社境内の竹灯籠が灯され、管楽器の演奏が行われました。



水戸シンフォニックアンサンブル吹奏楽団による夜間コンサートが会場を盛り上げました。



南川又区 8月13日(火)

伝統行事「盆綱曳き」



地元の小学生が区内全世帯を歩き、ご先祖様を送り届けました。

五里峰区 7月21日(日)

猿田彦神社「夏まつり」



暑さを吹き飛ばす、元気いっぱいの子ども神輿!



この日のために練習をして、区民の皆さんに披露しました。「豊年踊り」を楽しみました。



海老沢区 7月27日(土)

素鷲神社「祇園祭」



子どもたちは、金魚モバイルづくり・ジャンボシャボン玉体験コーナーを笑顔で楽しみました。



おかめさんがお祭りに華を添えました。

東永寺区 7月28日(日)

三世代交流会「レクリエーションとBBQ」



おじいちゃん、おばあちゃん、子どもたちが4人一組になって、輪投げ・バッコウ・脳トレをスタンプラリー形式で、チーム戦で競い合いました。



成績発表では、チームのみんなを拍手で称えあいました。

若宮区 8月25日(日)

三世代交流会「藍染め体験と竹馬作りとカレーライス作り」



笑顔いっぱいの交流会になりました。



子どもたちも、カレー作りをお手伝いしました。



藍染め体験、竹馬作りを三世代で体験しました。

防災行政無線の放送内容の確認にご利用ください

防災行政無線テレホンサービス
放送内容が、自動音声で流れます。
☎0800-800-8848 (通話料無料)

登録制メール配信サービス
放送内容を、放送と同時にメールで配信します。
その他、町ホームページにも放送内容を掲載しています。



お知らせ **人権擁護委員による「特設人権相談」を実施します**

町では、次のとおり「特設人権相談」を実施します。地元の人権擁護委員が、人権問題等でお困りの方々からの相談を受け付けます。秘密は守られますので、一人で悩まずにご利用ください。

- ▶ **日時** 11月28日(木) 午前10時～午後3時 (ただし、正午から午後1時までは行いません)
- ▶ **場所** 茨城町役場 駒場庁舎2階 会議室4
- ▶ **【問合せ先】** 社会福祉課
☎029-240-7112 (直通)

お知らせ **全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間のお知らせ**

法務省と全国人権擁護委員連合会は、夫・パートナーからの暴力やストーカーなど、女性をめぐる様々な人権問題の解決を図るための人権相談活動を強化するため、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間を実施し、悩みを持った女性からの相談に応じます。秘密は守られますので、安心してご相談ください。

- 全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間**
- ▶ **期間** 11月13日(水)～19日(火)
 - ▶ **相談時間** 月～金 午前8時30分～午後7時
土・日・祝日 午前10時～午後5時
 - ▶ **電話番号** 0570-070-810
 - ▶ **相談員** 人権擁護委員・法務局職員
 - ▶ **【問合せ先】** 水戸地方法務局 人権擁護課
☎029-227-9919

お知らせ **令和6年10月1日より町内3か所で廃食用油の拠点回収を開始しました**

現在、家庭から排出される食用油の大半は、ごみ焼却施設で焼却処分されています。限りある資源を有効活用するため、町では廃食用油の拠点回収を開始しました。

回収された廃食用油は、持続可能な航空燃料(SAF)等に100%リサイクルされますので、ご協力をお願いします。

- 【回収の対象となる油】**
植物性の食用油(サラダ油・菜種油・オリーブオイル等)
油かすなどは網等で取り除いてください。
※ 鉱物油、マヨネーズ、ドレッシング、ラード、バターなどは回収できません。

- 【回収場所】**
- ・茨城町役場本庁舎 (みどり環境課窓口前)
 - ・茨城町役場駒場庁舎 (生涯学習課窓口前)
 - ・桜の郷コミュニティセンター (事務室前)

【廃食用油の出し方】

- (1) 油かす等を取り除き、十分に冷ました廃食用油を、ペットボトル等の密閉できる容器に入れる。(漏斗等を使用すると入れやすいです)
- (2) 回収場所に設置されている回収ボックスに、容器ごと入れる。
※賞味期限を過ぎた油も回収できます。その際はペットボトル等に移し替えずにそのまま回収ボックスへ入れてください。



【問合せ先】 みどり環境課
☎029-240-7135 (直通)

LINE 茨城町公式LINE
町の情報を好評配信中!
ぜひご登録ください!



11月の納税

- 固定資産税 **3期**
- 国民健康保険税 **5期**
- 後期高齢者医療保険料 **5期**

・下記納期限までに金融機関、コンビニ、スマホ決済アプリ、地方税お支払サイトまたは役場窓口で納付しましょう。
・口座振替をご希望の際は、金融機関での窓口で手続きをお願いします。

納期限は12月2日(月)

お知らせ **雇用調整助成金等を正しく受給しましたか? ~労働局では、積極的な調査を進めています~**

コロナ禍において休業を余儀なくされた多くの会社(事業主)で、雇用調整助成金や緊急安定雇用助成金を申請・受給されました。その申請は適正に行われたものだったかどうか、労働局では現在、積極的な調査を行い、不正な受給を阻止・回収するための取り組みを行っています。その調査の結果、不正・不適正な申請により受給した事例がこれまでに多く判明しています。

会社の代表者の皆さま、下記に当てはまるものはありますか?

- ・自分は実態を把握していないが、休業を指示しただけで問題は無い
- ・実務を把握している社員に任せているから大丈夫
- ・申請は、助成金をよく知る代理人に任せているから問題ない

仮に不正受給に該当する場合、受給した金額+違約金+延滞金を返還していただきます。代表者が意図的かどうかにかかわらず不正に受給した事業所(事業主)は原則として公表されます。

しかし、自主申告により公表を避けられるケースがあります。受給した助成金について、少しでも思い当たるところや不安があれば、自主的な申告をお願いします。

【自主申告や不正・不適正受給について】

【問合せ先】 茨城労働局 助成金事務センター
☎029-302-5861
〒310-0801 水戸市桜川2-5-7 MシティビルⅢ1階
メール: ibaraki-joseikin@mhlw.go.jp

Information 情報

募集 **茨城町農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します**

農業委員会等に関する法律に基づき、農業委員と農地利用最適化推進委員(以下「推進委員」)の募集を行います。

- ▶職務内容**
- ・農業委員 農業委員会総会にて、農地法に係る許可申請等に関する審議や現地調査などを行う。
 - ・推進委員 担当地区内の農地集積・集約化や、遊休農地の発生防止と解消に関する現場活動などを行う。

- ▶ **募集期間** 11月1日(金)～29日(金)
- ▶ **募集人数** 農業委員15人、推進委員10人
- ▶ **任期** 令和7年4月1日～令和10年3月31日(3年間)

▶応募方法 「農業者や農業団体等からの推薦」と「自らの応募」の2種類の方法があります。

▶報酬 町規定により、報酬をお支払いします。資格要件等、手続きの詳細は、募集要項をご覧ください。募集要項は、町ホームページからダウンロードできるほか、農業委員会事務局に備え付けています。

【問合せ先】 農業委員会事務局
☎029-240-7117 (直通)

お知らせ **生涯骨太クッキング**

茨城町食生活改善推進協議会では、「カルシウム」の摂取をテーマにした「生涯骨太クッキング」を開催します。ぜひお気軽にご参加ください。

- ▶ **日時** 11月27日(水)
受付 午前9時45分～10時
講話・調理実習(2品)・試食
午前10時～午後0時30分

▶場所 茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」内2階 栄養指導室

- ▶ **対象** 町内在住の方
- ▶ **定員** 16人 ※定員になり次第締め切り
- ▶ **参加費** 無料
- ▶ **持ち物** エプロン、三角巾、手拭き用のタオル、筆記用具

▶申込期間 10月24日(木)～11月20日(水)

▶その他 やむを得ない状況により、日程が変更・中止になる場合があります。

【問合せ先】 健康増進課
☎029-240-7134 (直通)

TO THE FUTURE OF OUR TOWN



常陽銀行 **MEBUKI**
めぶきフィナンシャルグループ

遺言・相続・会社に関するお困りごとは私にお任せください!

望月 司法書士 事務所
FACIAL SALON @ MENARD
フェイシャルサロン 水戸吉沢

茨城県自動車学校水戸校すぐ南この看板が目印です

司法書士 望月正雄
☎090-1267-4222
〒310-0845 茨城県水戸市吉沢町354番地の97



子育て支援センター 遊びに おいでよ

茨城町子育て支援センターは子育て親子に寄り添い、親子のふれあいと絆を深める活動をおこなっています。

- ・活動により予約が必要な場合もあります(予約できる方は利用する保護者のみです)。
- ・兄弟であっても小学生の利用はご遠慮ください。
- ・詳細は受付の際にお伝えします。

まんまる一むのご案内

対象 未就学のお子さんと保護者
開放時間 午前及び午後の2部制
 月～金曜日及び第2土曜日(11月9日)
 《午前》9時30分～11時30分 《午後》1時30分～4時
予約は必要ありません。組数の制限なし。
 (状況により、安全面を考慮して利用を制限する場合があります)
 *5組以上でご利用を希望する場合は、事前にご連絡ください。

11月は第2土曜日が開放日となります。
 ※予約なしで利用できるようになりました♪



読み聞かせ 要予約

日時 11月6日(水) 午前11時～11時15分
 子育てボランティアが絵本や紙芝居の読み聞かせに来てくれます。親子でゆったりとお話の世界を楽しみましょう。
 *前日までにご予約ください。

まんまるたいむ

時間 午前11時～11時15分
 「わくわくおはなし」「ふれあいあそび」「リズムであそぼう」などを日替わりで行います。

お誕生会のお知らせ(12・1月生まれ) 要予約

保育士による楽しい出し物や、お友達との交流タイムもあります。皆様のお越しをお待ちしています。
対象 茨城町に住民票のある未就学のお子さんと保護者(2か月合同でのお誕生会となります)
日時 12月5日(木) 午前10時30分～11時
場所 まんまる一む(定員5組)
予約受付 11月25日(月)～12月4日(水)
 午前9時～午後4時(土・日を除く)
 電話または子育て支援センター窓口で受け付けます(定員になり次第締め切り)。

子育て相談 ご利用ください

対象 未就学のお子さんをもつ保護者
場所 子育て相談室
受付時間 月～金 午前9時～午後5時(※祝日を除く)
 11月9日(第2土曜日) 午前9時～午後4時30分
 子育てに関する悩みや不安、誰かに話を聞いてもらいたいことなど、さまざまな相談に保育士が対応します。相談の間、保育士にお子さんを預けることができます(月～金)。電話での相談も受け付けていますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

*感染症などの状況により、予定を変更する場合があります。詳細はお問い合わせください。

【予約・問合せ先】 こども課 子育て支援センター ☎029-291-0980(直通)
茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」内

まんまるたいむの様子



遊びに来てね♪

「わくわく製作」
コロコロ掃除機



「ふれあいあそび」
バルーンあそび



「わくわくおはなし」
エプロンシアター

Information 情報

お知らせ

秋の全国火災予防運動 守りたい未来があるから 火の用心



11月9日(土)から15日(金)までの7日間、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災を予防することが大切です。高齢者の方をはじめとした人命の安全を守り、財産の損失を防ぐための心がまえを皆様にお知らせします。

家族や地域の方々と協力して普段から火の用心を心がけ、火災を引き起こさないように注意しましょう。また、火災を発見したときには、一秒でも早い通報をお願いします。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

- ▶4つの習慣
1. 寝たばこは絶対しない、させない。
 2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
 3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
 4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。
- ▶6つの対策
1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
 2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
 3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
 4. 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
 5. お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
 6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

【問合せ先】 消防本部 予防課
☎029-292-1515(直通)

お知らせ

注意! あなたの土地が狙われています!

「土地を一時的に資材置場として貸してほしい」、「良い土で土地を埋め立ててあげます」などと、うまい話を持ちかけられ、安易に同意してしまった結果、廃棄物を不法投棄されたり、無許可で建設残土を埋め立てられたりする事例が発生しています。

これらの責任や処理費用の負担は、行為者だけでなく、土地所有者に及ぶこともあります。

また、野焼きについては、環境汚染の原因になるおそれがあるほか、火災につながる危険性もあります。

不法投棄、野焼き、不適正な残土埋立てを発見した場合は、直ちに専用ダイヤル「不法投棄110番」まで通報をお願いします。

不法投棄・野焼きを見つけたら

いつもみんなでむらなくみはれ
不法投棄110番(0120-536-380)へ

▶受付時間 午前8時30分～午後5時15分
(土・日・祝日を除く)
 ※受付時間外は最寄りの警察署までご連絡ください。

【問合せ先】 茨城県廃棄物規制課
☎029-301-3035

お知らせ

第2回脳卒中県民公開講座 「知ってますか? 脳卒中」

筑波大学附属病院茨城県脳卒中・心臓病等総合支援センターでは、脳卒中に関する県民公開講座を開催します。

脳卒中科の医師等が、脳卒中の予防と治療の講演や、寸劇を行います。また、脳卒中後の生活・栄養・薬などに関する相談コーナーや、片まひ体験コーナーも実施します。

▶日時 11月30日(土) 午後1時～4時
(開場 午後0時30分)

▶会場 イオンモールつくば イオンホール

▶定員 100人(先着順)

▶参加費 無料

▶参加方法 事前申込が必要です。
右記二次元バーコード、電話、FAXにてお申し込みください。



【申込・問合せ先】
筑波大学附属病院 茨城県脳卒中・心臓病等総合支援センター事務局

☎029-853-3696

FAX029-853-7581

11月8日は「いい歯の日」です。歯は食べ物をしっかり噛むためにとても重要です。健康な歯を保つと、将来にわたって、おいしく楽しく食事をする事ができます。そこで今回はよく噛むためのポイントを生かしたレシピをご紹介します♪

みんなの図書館

茨城町立図書館
☎ 029-240-7131
ホームページ
https://www.lib.t-ibaraki.jp



図書館カレンダー
11月の休館日は、4日(月)、11日(月)、18日(月)、21日(木)、24日(日)、25日(月)です。

おすすめ新着本

新刊1



作家刑事毒島の暴言
(中山 七里 著)

新人賞を獲ったばかりの作家の卵が殺された。若手刑事の高千穂は、作家兼業の名物刑事・毒島と捜査を開始する。被害者が通っていた小説教室を訪ねると、そこには異様な光景が…。高千穂が背筋を凍らせる中、嬉しそうな表情を浮かべる毒島。尋問が大好きな彼は、受講生のプライドをへし折る容赦ない取り調べを行うが…。『小説幻冬』連載を加筆修正。

新刊2



森にあかりが灯るとき
(藤岡 陽子 著)

お笑い芸人の夢に挫折し、特別養護老人ホーム「森あかり」で介護士として働くことになった星矢は、初めての夜勤の日に、利用者の鼻に酸素を投与するためのチューブが人為的に切断されているという医療事故に遭遇。さらにその原因が星矢にあるのではないかと施設長から疑われてしまう。ある日、施設で厄介者扱いされている医師・葉山彩子を街で見かけて意外な場所に連れていかれるが…。

イベント情報

おはなし会 (毎月第2、4土曜日)

11月9日(土) 午後2時～2時30分
11月23日(土) 午前11時～11時30分

絵本となかよし (毎月第2、4木曜日)

11月14日(木) 午前10時30分～11時
11月28日(木) 午前10時30分～11時

図書館「おとぎのくに」で開催します。

誠文堂新光社寄贈本の紹介

- トカゲ大図鑑 イグアナ下目編
- 1等星図鑑
- わくわく工作部1 輪ゴム・ゼンマイで動かそう
- わくわく工作部2 おもり・磁石で動かそう
- わくわく工作部3 モーターで動かそう
- 賢者に学ぶ、「心が折れない」生き方
- アンモナイト学入門
- ジカツデザイン
- 小学校教師のための言いかえ図鑑
- 草本植物 芽生えと初期成長図鑑

れんこんバーグ

健康レシピ

こんにゃくサラダ

健康テーマ「一歯の健康レシピ」

れんこんバーグ

【材料】4人分

鶏ひき肉	400g
れんこん	100g
片栗粉	大さじ2
卵	1個
塩	少々
こしょう	少々
サラダ油	小さじ1
しめじ	60g
えのき	40g
しょうゆ	大さじ1・小さじ1
みりん	大さじ1・小さじ1
だし汁	120cc
片栗粉	小さじ1
サラダ油	大さじ1
しそ	4枚
ミニトマト	6個

【作り方】

- れんこんは皮をむき、5mm角にみじん切りする。しめじは小房に分け、えのきは3等分に切ってほぐす。しそは千切りにする。ミニトマトは半分切る。
- フライパンにサラダ油を熱し、れんこんをいためる。パットに取り出し、粗熱をとる。
- ボウルにAの材料を入れ、粘りが出るまでよくこね、等分し形を整える。
- フライパンにサラダ油を熱し、③を入れ、中火でふたをして両面をそれぞれ5分程度焼く。
- フライパンの余分なサラダ油をふき取り、だし汁を加え、沸騰したら、しめじ、えのきを入れ、Bを加える。再沸騰したら、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- 焼きあがったれんこんバーグにあんをかけ、しそをのせ、ミニトマトを添える。

栄養成分(1人分)
エネルギー 274kcal
塩分 1.3g

ポイント

いつものハンバーグ生地にいためたれんこんを加えることで、シャキシャキの食感に仕上がります。

こんにゃくサラダ

【材料】4人分

刺身こんにゃく	200g
きゅうり	80g
にんじん	80g
塩	少々
かにかま	4本
ポン酢	大さじ2弱
ごま油	小さじ2
いりごま	小さじ1強

【作り方】

- 刺身こんにゃくは水洗いをして、水気をしっかりとふき取る。こんにゃくは細切りにする。同様にきゅうりとにんじんを細切りにし、塩もみをする。かにかまは手で割く。
- ボウルにAを混ぜあわせ、①を加え、よくあえる。

栄養成分(1人分)
エネルギー 53kcal
塩分 0.9g

ポイント

刺身こんにゃくの食感が楽しいサラダです。

よく噛むためのポイント

「食材選び」の工夫

- ・食物繊維の多い食材 (根菜類、豆類、きのこ類、海藻類)
- ・弾力のある食材 (肉、こんにゃく、たこ、いかなど)
- ・乾燥したもの (切干大根、ナッツ類、干しいたけなど)

「調理」の工夫

- ・少し大きめに切る
- ・加熱時間を短くし、歯ごたえを残す
- ・異なる食材を組み合わせる



町ホームページには、これまでの健康レシピを掲載しています。ぜひご覧ください。



【問合せ先】健康増進課
☎ 029-240-7134(直通)

◆新刊・新着本のご案内



よむよむかたる
(朝倉 かすみ 著)



産婆のタネ
(中島 要 著)



新 謎解きはディナーのあとで2
(東川 篤哉 著)



またうど
(村木 嵐 著)



ウォッチメーカーの罠
(ジェフリー・ディーヴァー 著)



ひとつだけ守りたいもの
(リンダ・スー・パーク 作)



コールテンくん ステージにたつ
(ドン・フリーマン 原案)



しばらくあかちゃんに なりますので
(ヨシタケシンスケ 作)



だろぼう猫とモヤモヤのこいつ
(小手鞠 るい 作)



マメクジらくん 海へいく
(山下 明生 文)

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和6年9月末現在
男 15,346人
女 15,210人
総人口 30,556人
世帯数 13,570世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花 桜

◆町の木 梅

◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合

防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X (旧ツイッター)
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
- 町公式ライン
<https://page.line.me/?accountid=ibarakitown>



メス オス

里山に育む生きものたち

No.148 スズガモ

学名 *Aythya marila*

写真・文 仲田 立

▼スズガモの餌は、貝類や海藻類などです。貝類に棲むヤマトシジミも食べます。シジミの殻を食害があるというわけでは

別は難しいです。て、単独で見られるときは、ハジロの雌によく似ています。多く見られるのは、沼目立ちます。雌は、白斑がばしの基部にある白斑が部から胸が茶色で、く斑があり、淡い灰色で波状り、背は黒緑色で光沢が頭部は黒、脇と腹が白く、

す。雄は、脇と腹が白く、水は、貝類などを食べます。渡来数は、海も多いため、水質汚染などにより減少しています。貝類などを食べます。

▼スズガモ(鈴鴨)とは、飛翔時の羽音が鈴の音に似ていることから、和名で「スズガモ」といわれます。冬鳥として全国に渡来し、海ガモの仲間です。汽水域などの閉鎖水域において水変わりなどを防ぐ、漁業資源の保全にも有益であると報告されています。(岡奈理子、2000年)

す。残念ながら、毎冬に沼に飛来していたオジロワシやオオワシが、勇壮

▼スズガモの数も、多いカモ類です。3年、11月から2月の間で、多い時は1万羽ほどが見られます。極東シベリアから飛来し、10月下旬から3月まで大きな群れが見られ、場所は茨城町の中間地点が多いです。堤防上から楕円形に見える群れの様子は圧巻です。

ありません。論文によつて、スズガモがシジミ類を食べることによってシジミ類の増えすぎを防ぎ、汽水域などの閉鎖水域において水変わりなどを防ぐ、漁業資源の保全にも有益であると報告されています。(岡奈理子、2000年)

に大空を舞う姿は見られなくなり、ラムサール条約湿地の条件であるスズガモの個体数が世界の1%(5000羽)以上という基準は満たされていません。再び、オオワシなどが飛来する可能性もあると思



スズガモの群れ (網掛公園より撮影)

願っています。沼沼の自然が保たれて、ラムサール条約湿地としての要件を末永く満たし続けて行くことを願っています。

ちびっ子アート ウィステリアナーサリースクール



「おいしいパイナップルとスイカ」
かとう ゆい(5歳)



「ホオジロザメ」
かみなが ゆうすけ(6歳)